

行ってみよう！やってみよう！
お出かけガイド
イベント・講座情報

このコーナーでは、市内で開催されるイベントや講座などを紹介します。

市民防災リーダー養成講習会

いざというときに備えて

地域で防災対策のリーダー的な役割を担う市民防災リーダーの養成講習会を開催します。



●日程 = 2月16日(土) 9時～12時30分(受付: 8時30分～) ●場所 = 中央公民館大ホール ●対象 = 市内に在住する人又は市内の事業所に勤務する人 ●費用 = 無料 ●定員 = 100人程度 ●申込方法 = 電話で申してください。 ●申込締切 = 2月4日(月)(申込多数の場合でもできる限り対応します) ●問 = 危機管理課 Tel 23 - 1175

河川清掃ボランティア

オオヨドカワゴロモを守ろう！

国指定天然記念物に指定されている「オオヨドカワゴロモ」の貴重な自生地を保護するため、



今年もボランティアを募集し、清掃活動を行います。 ●日時 = 1月19日(土) 9時30分から2時間程度(雨天などのため中止する場合は前日までに連絡します) ●場所 = 旧岩瀬橋の西側説明板前集合(駐車場は、旧岩瀬橋から市清掃工場方面へ150m先の広場) ●準備するもの = 雨靴、ゴム手袋、デッキブラシ、竹ぼうきなど古コケヤ汚泥をはがす道具 ●申込締切 = 1月15日(火) ●問 = 社会教育課 (Tel 22 - 7912)

市内の講座情報などがわかる

TENAMU ビル2階に掲示板登場

市内で行われている多くのイベントが一目でわかる掲示板がTENAMUビル2階のキッズコーナー横に登場しました。今まで壁面にたくさんイベントポスターを掲示していましたが、全てをまとめて掲載。開催予定のイベントなどを随時スタッフが書き込むので一目瞭然です。イベント情報を掲載したい場合は、2階交流スペースのスタッフにお尋ねください。「今後の講座やイベント情報を知りたい」や「イベント開催を周知したい」などさまざまな活用方法がある掲示板。交流スペースに立ち寄った際は、ぜひ確認ください。 ●問 = TENAMUビル2階市民交流スペース (Tel 22 - 1076)



子どもたちの情報活用能力を高めるために

東方中学校でタブレットPCを活用した研究授業を行いました



①タブレットPCで課題に取り組む生徒。②市内内外の教職員ら100人が見学。③映像など動画的な教材により学習の理解を深めています。

東方小・中学校では、昨年度から産学官連携(ダイワボウ情報システム(株)、宮崎大学新地辰朗副学長)で、タブレットPCの活用について研究を進めています。ICT機器活用による学力向上や、進歩がめまぐるしい情報社会に生きる子どもたちにとって必要な「情報や情報技術を活用する能力」を高めることが目的です。その一環として、タブレットPCを使った授業の公開が12月12日に東方中学校で行われました。公開された授業のうち、1年生の数学の授業では、生徒が配付された1人1台のタブレットPCを活用し、作図の手順や考え方をグループで共有。代表の生徒が作図データを電子黒板に映して発表するなど、図形について学習しました。授業を行った東方中本蘭理子教諭は「グループで同じ画面を共有し、画面上で視覚的に説明することができ、学習の理解が深まる」とICT活用の効果を話し、1年の増田みゆさんは「タブレットPCを使うことでお互いの考えが分かりやすく、友達との意見交換が十分できました」と話していました。市では、研究の成果をもとに、今後もICT教育を推進していきます。

シリーズ
学校の働き方改革

先生が子どもとじっくり向き合うために Vol.5

日本全体で加速する「働き方改革」。義務教育の場、小中学校でも待ったなし、の変化が求められています。今、教育現場はどうなっているのか。長時間労働を是正しながら、教育の質を高めるには何が必要なのか。シリーズを通して考えていきます。

重点業種5種の働きすぎや病の原因・ストレスの特徴など(平成30年版「過労死等防止対策白書」より)

- ①教職員…長期間の過重業務が心と体の病の原因に。
- ②自動車運転従事者…拘束時間が長い、早朝勤務、不規則な勤務が病の原因に。長時間労働、乗客等からの暴力等がストレス要因。
- ③IT産業…発注者・顧客の要望への対応などが、残業の主な原因。納期厳守のプレッシャー、クレーム対応などがストレスに。
- ④外食産業…人手不足や多面的な業務で長時間労働に。特に調理人、店長の業務量が多く、病の原因に。
- ⑤医療…診断書、カルテなどの書類作成、救急や患者の緊急対応が残業の要因。患者からの暴力や悲惨な事故などの目撃が心の病の原因に。

「過労死等防止対策白書」公表
教員の8割が働き過ぎ。ストレスや悩みも

厚生労働省は10月30日、過労死の状況などをまとめた平成30年版「過労死等防止対策白書」を発表しました。今回、重点的に調査された業種は、過労死などが多いとされる「自動車運転従事者」、「医療」、「IT産業」、「外食産業」、「教職員」の5種。改めて教職員の働き過ぎの実態やストレスの要因が示されました。教職員3万5640人がアンケート調査に回答。平日1日の勤務時間が10時間以上と答えた人が約8割と、教職員の大半が法定労働時間(8時間)を大幅に超えています。

残業の理由は「自分が行わなければならない業務量が多い」が7割弱で最多。「予定外の業務が突発的に発生するため」が5割を超えました。ストレスや悩みについては約8割が「ある」と回答。「長時間勤務の多さ」と答えた人が4割と最も多く、学校や児童生徒を取り巻く環境、休日・休暇の少なさなど教職員特有のものが多くなっています。

心身ともに健康的な先生が子どもたちとじっくり向き合えるよう、長時間労働は正に向けた取り組みを着実に実施していくことが必要です。